注　　意　　報

農技セ第2514号
平成２３年１１月１４日

各関係機関長　　殿
病害虫防除員　　殿

徳島県立農林水産総合技術支援センター
病害虫防除所長
（公印省略）

平成23年度農作物病害虫発生予察情報について

平成23年度農作物病害虫発生予察注意報第１号を発表したので送付します。

平成23年度病害虫発生予察注意報第１号

平成23年11月14日
徳　　島　　県

11月前半の巡回調査において,ハダニ類の発生が平年より多く,また向こう１ヶ月の平均気温は平年より高くなると見込まれていることから,今後も発生が増加し多発生が懸念されますので,注意報を発令します。
現地においては発生状況の把握に努めるとともに,適切な防除指導をお願いします。

作 物 名：イチゴ
病害虫名：ハダニ類

１.発生地域　　県下全域

２.発生時期　　11月中旬～

３.発生程度　　多(前年よりやや多く,平年より多い)

４.注意報発令の根拠
(1)11月前半の巡回調査では,発生圃場率は64.3%,寄生株率は20.3%,また寄生葉率は9.9%であり,平年(20.2%, 4.5%, 2.5%)と比べて高い発生である。
(2)11月11日発表の１ヶ月予報では,平年に比べて晴れの日は少ないが,平均気温は平年より高い確率が60%と予想されており,発生に助長的な気象条件である。

５.防除法等
(1)多発生後は防除が困難となるので,ルーペや虫眼鏡等を用いて圃場全体をよく観察し,発生を確認したら直ちに防除を行う。
(2)薬剤は十分な量で葉裏や葉柄にも付着するように丁寧に散布する。
(3)薬剤抵抗性の発達を避けるために,同一系統薬剤の連続散布を控え,系統の異なる薬剤を輪番で使用する。なお,気門封鎖系薬剤は物理的に作用するため,抵抗性発達の防止に有効である（但し,薬害発生の恐れがあるので,薬剤散布に当たっては高温時や日射の強い時間帯を避けたり,散布液が果実などにたまらないように注意する。）。
(4)薬剤によっては,ミツバチへの影響があるので薬剤の選定に当たっては注意する。
(5)その他,防除等の詳細については,徳島県植物防疫指針を参照するとともに,薬剤の使用に当たっては,必ず農薬ラベル記載事項を遵守する。

ナミハダニ黄緑型成虫

ナミハダニ多発生株

ナミハダニ多発生葉